

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 107 号 令和元（2019）年 6月 4日発行

定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三ー六一四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

令和元年

六月四日（毎週火曜日発行）

AJU通巻

増刊第一三四人二号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

グループホーム青色の麦特集

2019年5月！待望のグループホーム青色の麦が完成しました！！

★ 1階スペース ★

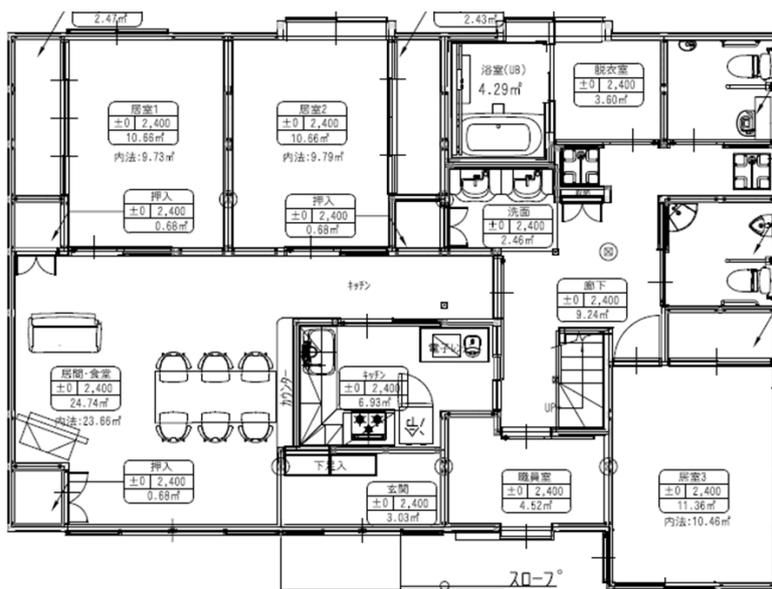


居室

トイレ（立・座りタイプ）

スプリンクラーの設置
耐震補強工事等々、
いくつもの難関を
乗り越えて、
ようやくの完成です。

これも一重に、皆様
ご協力のお陰です！！
いろいろと応援して
頂きまして本当に
ありがとうございました！



初めてのリフォームは
「大変だった」の一言！
です。
でも出来上がりは
「満足」
皆さんにも納得して
頂けると思います。



居間



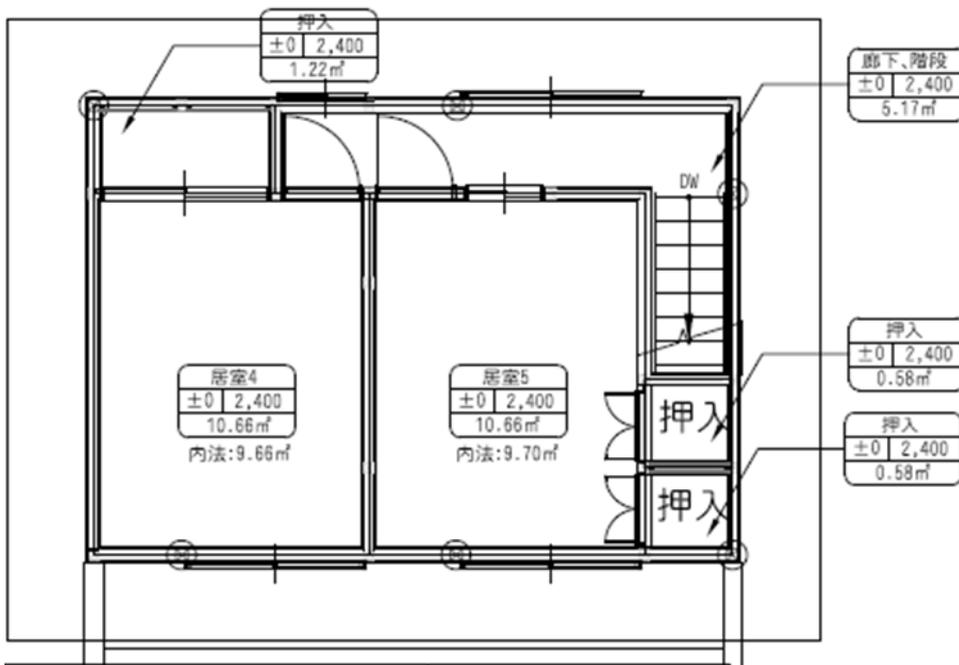
手すり付きお風呂

★ 玄関 & 2階スペース～ ★



外観はほとんど変えて
いませんが、建物の中は
間取りも変えて
新しく生まれ変わって
います！！

2階建てで、
エレベーターが無いので、
2階の個室は健脚組が
利用されます。
門扉→玄関→居間→
1階個室、トイレ、バスは
バリアフリーが
実現できました。



- ★敷地面積
272.6㎡
- ★建物面積
106.83㎡
- ★延床面積
135.81㎡
- ★各居室面積
10.46～9.7㎡
- ★共有スペース面積
23.66㎡

～機関紙作業風景～

□担当者紹介

☆古謝忍（担当6年目）

一言：機関紙を通して、私たちの思いが届きますことを願っています。

☆多良匡弘（担当3年目）

一言：編集後記を書くのが楽しみで頑張っています。

☆柳原綾（担当3年目）

一言：皆さんの原稿にほっこりしながら、楽しく作っています！



□作業工程 Part1 (Bグループ)



1枚、1枚
愛情込めて

**全部で700部以上！
AとBの仲間が
力を合わせて
完成させています！！**



① 封筒に宛名シールを貼る

② A3を半分に折る



挟むページを確かめて…
「あ、〇〇さんだ！！」

手でトントンと叩いて
折り目を付けてます！

③ ②に中ページ（A4）を丁合して
冊子完成！

□作業工程 Part2 (Aグループ)



寝とらんでな、
入れとるでな。

イイイイイイイ

④ ③を3つ折りにする



⑤3つ折りした機関誌を
封筒に入れる



塗りすぎ注意・・・

**いろんな人にもっと、
麦の里のことを
知ってもらうために！**

よいしょ！！
片手でへっちやら！

⑥封筒をのりで綴じて、
部数を確認する



⑦郵便局へ配送に行く
(Bグループ)

□製造現場から一言

機関紙の発送作業は、AもBもたくさんの仲間が参加している作業です。B組さんは宛名シール貼り、A3の折りから丁合まで、A組さんは3つ折りから封閉じまでを担当して、協力しながら作っています。

2か月に1回の発行ですが、仲間たちはとても慣れてきました。ただ、修行中の仲間も挑戦して取り組んでいるため、ちょっぴり仕上がりが歪んでいることも…頑張っていますので、ご了承ください。

全国の皆様に、麦の里の活動を知っていただくため、ステキな内容を考えます！お楽しみに！！

EM 生活の発行誌

“WE USE EM”

vol.5にて麦の里が取材を受け、記事が掲載されています。



地域を醸すEMボカシ
発酵職人の部屋

取材、編集して下さったEM生活の皆さん。ステキな記事をありがとうございました！



麦の里でのEMボカシ作り。皆が集まる週に一度の楽しい時間です。

「愛知県瀬戸市」
社会福祉法人 麦の里

EMボカシが繋いでくれる。
みんなが
大きな家族のように。



麦の里で作っているEMボカシ。もみ殻入りでとても良い香り。



麦の里には、瀬戸市内にある障害者施設の中で、最も重度の方が通われています。障害が重くても取り組める作業を探していた時にEMボカシと出会いました。それから25年以上、EMボカシ作りに取り組んでいます。
事業所内では障害の重さによって行う作業を振り分けていますが、EMボカシ作りは利用者の方が一丸となって取り組める作業であるため、貴重な交流の場になっています。それが家族のような温かい空気感を作り、「麦の里」らしさに繋がっていると施設長の渡邊^{わたなべ}さんは言います。
麦の里は、重度障害者施設でありながら、「働く場」であることを大事にしているため、作業は真剣に行います。同時に、EMボカシ作りの場面では皆で声を掛け合い、励まし合いながら仕事に取り組んでいます。
EMボカシ作りの担当職員で生活指

導員の古謝^{こせ}さんは、そんな「麦の里」らしい雰囲気を作るために職員として上から指導するのではなく、同じ目線に立って話すように心がけています。「今一番大事にしたいと思っていますことは『待つ』ことです。私が声をかけて、その人の中でゆっくりと言葉になるまで、その時間を大切にしたいと思っています。行きましようと言っても、なかなか反応できない人に、すぐに手を引いてあげるのではなくて、待つことが大切だと思っています」。
麦の里では、人間としての成長も大切に考え、利用者の方々が社会に出られるような環境づくりを日々実践しています。



左から施設長の渡邊さん、副施設長の稲垣さん、EMボカシ担当の古謝さんと坂本さん



新人仲間紹介

かとうせりな
加藤芹奈さん

小柄でとても可愛いせりなさん。実習で麦に来た時から、すでにアイドル感！！みんなが寄ってきて、手を握って挨拶をしてくれます。

瑞浪から瀬戸まで長距離通勤。発作や不随意があり、吸引も必要です。でも、小柄な割にはパワフルで、週3回、元気に通ってくれています。

大きな目で、よく周りを見ていて、話を聞いています。実習の頃から、お母さんがせりなさんの話をしていると、「なんで私の話をしているの！」と言わんばかりに、いやーな顔。それでもお母さんが見えないところに隠れると、今までの顔がコロッと変わって、いつもの顔に（笑）麦では最年少ですが、ちょっとずつ大人の女性になってきている証拠なのかな？自分の話には、特に敏感なお年頃です♥♥

4月から麦の里に通所し始めて、少しずついろいろな顔を見せてくれています。おしゃれだねと言われると初めて笑顔になったり、なかなか落ち着かずもぞもぞしてみたり、抱っこやスキンシップは好きなのか、朗らかな表情になったり。まずは元気に来て、いろいろな活動にトライしましょうね！



仲間紹介

かわいこうき
河合浩輝さん

麦に来た当初は、少年のような顔立ちでしたが、今では青年、可愛い系男子になりました。学生時代は、車椅子に乗っての活動でしたが、おうちで這って生活をしている事から、麦の里では這って移動してもらうことになり、今では這ったり、掴まり立ちをしたり、職員と一緒に歩いて生活をしています。グループホームにも挑戦したり、トイレの自立を獲得したり、自分でできることがどんどんと増えています。

今ではどんな仕事でも一人前にやっている浩輝さんですが、最初の1~2年すぐはなかなか仕事に向かえずに、食堂に寝転んで、作業部屋に行くまでも一苦勞…職員と2人で食堂で仕事をしたことも。最近では、絵カードを使ってやりたい仕事を選び、自分で仕事に向かっています。外仕事も好きなようで、よく選んでいます。

話したいことがあると、自分の文字盤（五十音）を持って職員の所まで行き、家の事やホームの事などたくさんコミュニケーションをとり、自分の意志をしっかりと伝えています。

人間の発達には言葉に限らないいやりとりが大切で、自分のやりたいという意志で、自分から主体的に動くことで、様々なことを人間は身につけていくのだと教えてくれる力強い存在です。



新人職員紹介

あかさか
赤坂

た え こ
妙子 さん

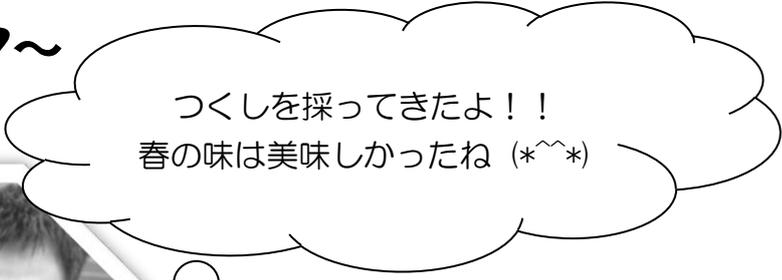
2019年4月から麦の里で働いている赤坂さん。生まれは長野県ですが、小さいころに愛知県に来て、瀬戸市と尾張旭市を行ったり来たり。家を買うときに瀬戸市へ。

家族は、旦那様に、お子さんが4人、犬が2匹と大所帯。「いつの間にか、増えちゃった」と笑いながら話していました。結婚前はヘルメットをかぶって建築業をされていましたが、結婚を機に退職。その後、“何か資格を取ろう！”と、介護職員初任者研修を取得して、取ったからには…と介護の道へ。高齢者のデイサービスで働かれていましたが、2月発行105号の麦の里の機関紙の表紙を見て、麦の里で働くことを決めたそうです。

将来の夢は「子供たちと一緒にお酒を飲むこと」と、お酒は甘いのはダメで、辛いのが好き。特に日本酒が大好きで、いろいろ終わってから、夜飲むのが至福の時間だとのこと。

「麦の里楽しい！」「仲間が可愛くって！」と素敵な笑顔で話す赤坂さん。いつも明るく、あっという間に麦の里に馴染んで下さって、その優しさがみんな大好きになりました♥

～ある日の七麦での1コマ～



つくしを採ってきたよ！！
春の味は美味しかったね (*^^*)



職

員のつぶやき

樹木希林さんが亡くなり、追うように内田裕也とショーケン（萩原健一）も逝ってしまった今、心の中にぽっかりと穴が空いてしまっている、今日この頃である。私の生活もベッドにたどり着けず、床寝が続き、私もそろそろか？と終活に少しずつ整理を始めている。この前は43年前の腕時計の修理ができ上がってきて、次に10年程前の時計の修理をお願いしている。その後には、ギターのリペアが5本待っているなあ〜…。

私は向こうへ行ったら、こちらでできなかった野外 Live をしたいと思っている。メンバーは日本人組でまとめたかったのだが、まだ現世で頑張っている人もあり、ドラムは「大口広司」、キーボードは「イアン・マクレガン」、ベースは「ロニー・レーン」、リード・ギター「山口富士夫ちゃん」、サイド・ギターは「加藤和彦」、女性コーラスは「希林さん」と「坂井泉水」、男性コーラスは「忌野清志郎」と「尾崎豊」。こうなると、プロデュースは裕也さんをお願いすることにしよう。ボーカルは当然「とも」である。

Opening は、ボブ・マーリーの Live の 1 曲目の“TRENCHTOWN ROCK”から Start して、レゲエ&パンク&ロックを歌うよ!!最後は guest に（松田）優作を呼んで、「天国は遠くの街」を歌い（天国なの…）、アンコールはプロデューサーの裕也さんとショーケンに出してもらい、ショーケンの CD からのチョイスで、「GAMBLER」を3人で歌うのさ!おっ、サックスがいるネェ。うんじゃ、クラレンス・クレモンズに参加をお願いしよう。そして、大トリはやっぱりこの人。Jimi Hendrix だろう!!アメリカ国歌を Rolling Stones のレット・スペント・ザ・ナイト・トゥゲザーばりにギンギンに弾いて、花火を上げるのさ〜!!どうかなあ〜?

でも肝心の私は、「あしたのジョー」、ホセ・メンドー戦の11Rあたりでまだまだブスブスとくすぶっている状態で…。真っ白くなるまでにはもう少しかかりそうかなあ〜?と最近ブツブツつぶやいている。

<BGM> GAMBLER/Hagiwara Kenichi by Tomo



中品野町 グループホーム七色の麦 思い出の写真館

『5年目の春』が来た！

七麦の建物の周りにつくしが自生している。この土地は以前は畑で、つくしの根は深いせい毎年顔をだしてくれる。

今年も行ける仲間で初めての『つくし採り』。志保さんは「初めて～」と言いながら上手に見つけて採っている。誠さんはしゃがんで採ってにおいを嗅いだり、内海さんは小石のジャリジャリを楽しみながら参加。奈穂さんは小石に座り込み、千加さんも心地よい風に吹かれながら春を感じていた様子。竹子さんは一番張り切って？採っていた。みんなが採ったつくしをひとりで頭とはかまをとって、調理して振るまってくれた。「指が真っ黒になっちゃった」といいながらも、みんなから美味しいと言われると照れ臭いけど満足そうな表情だった。

夕食のあとは一服タイム。4月初旬は『かくれんぼ』がブーム。内海さんは「部屋のカーテンの下に隠れる」と宣言？してから静かに隠れ、志保さんは職員が本気を出さないと見付けられない程見事に隠れる。誠さんも職員と鬼をやったり。入浴介助をしていると、浴室まで賑やかな声が聞こえてくる。浩輝さんは連絡帳や文字盤で職員と話をしたり、大好きなワードをなぞってはニヤニヤ。健司さんはみんなの頭をフーしたり、いろんなところを擦って音をだしたりとみんなを楽しませてくれる。

こんな感じで七麦の夜は過ぎていく。

今春愛知県コロニーの中央病院が 100メートル位移転した。私事で恐縮だが、知的障害がある自閉症の息子は、ドライブのときに旧病院のロビーの自販機で缶コーヒーを買うのが日課だった。移転に伴い旧病院は閉鎖して入れなくなり、怒った息子は自分の頭や私を叩きまくった。新しい病院に入ろうと誘っても頑として嫌がった。それが数回あり、このまま受診ができなくなったらどうしよう、、、私は不安で一杯だった。しかしその数日後ヘルパーさんの助けを借りて無事に新しい病院で歯科受診ができた。知らない間に苦手なことを『乗り越える力』がついていたんだなあと私はちょっと胸が熱くなった。

毎日の生活が成長の糧となるのだ。『継続は力なり』七麦の仲間と一緒に今年度も元気に過ごしたいと思う。

(あさ)

#アグネスコラム

10年以上前に“鏡の法則”という本を読みました。今でも度々思い出すのですが、自分の行いが、自分自身、もしくは大切な誰かに、鏡のように反射して返ってくるという内容でした。自分に返ってくる分には良いのですが、大切な誰かに自分のせいで不快な思いをしてほしくはないと、自分自身の行いや、誰かのうわさ話や悪口を避けること等、余計に気を付けるようになりました。

“鏡の法則”と呼び方は違っても、皆さんもそのようなことを教わってきてはいないでしょうか。今一度、自分自身のふるまいを客観的にみることが出来ますように。私たちは、小さなことから大きな影響を与える経験から知っています。

お礼のコーナー 〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◆

会員 更新：山中勇樹 谷口奈穂 村上直哉 谷川博 渡邊覚 渡邊照予 村松剛 菊池誠
山田桂三 宮下洋子 日下部悠希 若杉菜緒美 今村恵美子 稲垣聡

賛助会員新規：中山郁麻 加藤真一

賛助会員更新：加藤陽子 (資)カネ三商店 加藤香代子 加藤仁志 愛新陶器 加藤茂生
谷口知広 山本シゲ子 ナガエ電設 天野結香 柴田利勝 小口美佐子
近藤直子 春見重美 鈴木まもり 金田昌博 稲垣渥子 神野秀幸
小川美登代 村上雅康 伊藤光枝 村上澄代 下田桂司 植田美恵子
野知里紀子 スズリョーベルックス(株) 増山峰生 梅田尚美 土野陸男
(有)伊藤商事 (伊藤裕美) 永田芳子 木全孝次・久美 堀川芳夫 日比野令子
古谷康彦 熊崎敦子 (有)米繁 奥平待子 岩田葉子 坂本優子 橋口年子
横井智子 園田景子 (株)協和コーポレーション 阪野延子 大野芳治 常田昇
寺嶋裕子 雪野哲哉 季国本修慈 ホンダカーズ瀬戸(株)丸網 中山昭二
平手正美 峰島厚

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

水野すみ子 宮下洋子 光川和博 五十嵐隆 松尾自動車 明治安田生命瀬戸店 山田弘隆
イオン瀬戸水野店 前田百合 麦の穂 匿名希望6名

◆◆「グループホーム青色の麦」建設募金をいただきました◆◆

河合浩輝 内海彩 稲垣聡 麦の会

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。 (5月10日現在)

オムロンまつり

オムロン桜祭りに参加させていただいて早10年近く。仲間も例会のお出掛けで参加しています。

お母さん達がバザーをしているところに参加させてもらい、仲間も「いらっしゃいませー」と声を出し、盛り上げてくれていました。交代で店番と散歩に分かれ、散歩組は他のお店を見て回ったり、吹奏楽部の音楽を聴いて手を叩いたり楽しそうにすごせました。

来年も仲間と一緒に参加させていただきたいです。

(たら)



正職員・パート短時間アルバイト大募集!!

(夜勤、遅番、可能な女性也大募集!!)

社会福祉法人麦では、新事業として第二グループホーム&第二麦の里を開設する予定です。それに伴い職員を募集しています。麦の里をはじめ、開設する施設でのスタッフを男女問わず募集しています。詳しくは麦の里までお問い合わせ下さい!!

たとえば…・早朝2時間のみ・夜間2時間のみ(週1でも可)

今後の予定

6月 1日	麦の会 総会 「青色の麦」内覧会
9日	山口もーやっこふれあい祭 出店予定
11日	イエローシートキャンペーン
16日	ウェルフェアボーリング大会
18日	床屋デー
25日	北山地区廃品回収予定
29日	麦の会 役員会

7月 6日	麦の会 定例会
7日	ふれあい朝市出店予定
11日	イエローシートキャンペーン
19日	福祉マルシェ出店予定
27日	麦の会 役員会
30日	北山地区廃品回収予定

午前：10：00～11：30
午後：13：30～15：00

やすらぎ会館 木曜日 開催日

* 6 月 *		* 7 月 *	
6日	午後	4日	午後
13日	午前	11日	午前
20日	午後	18日	午前
27日	午前	25日	午後

※ 変更になる場合もあります。

会場

住所：愛知県瀬戸市川端町1-31

電話：0561-84-2011

パン、炭、EMボカシ等仲間と接客販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。



障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 及び 麦の里
就労継続支援事業B型
共同生活援助事業 七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12

電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766

Mail nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

5月から我が家に新しい家族(ワンコ)が来ました。ペットショップからうちに来て緊張するかな?と思いきや意外に図太く、すぐに慣れてくれ毎日遊んでいます。かわいくてかわいくて仕方がないです。(たら)